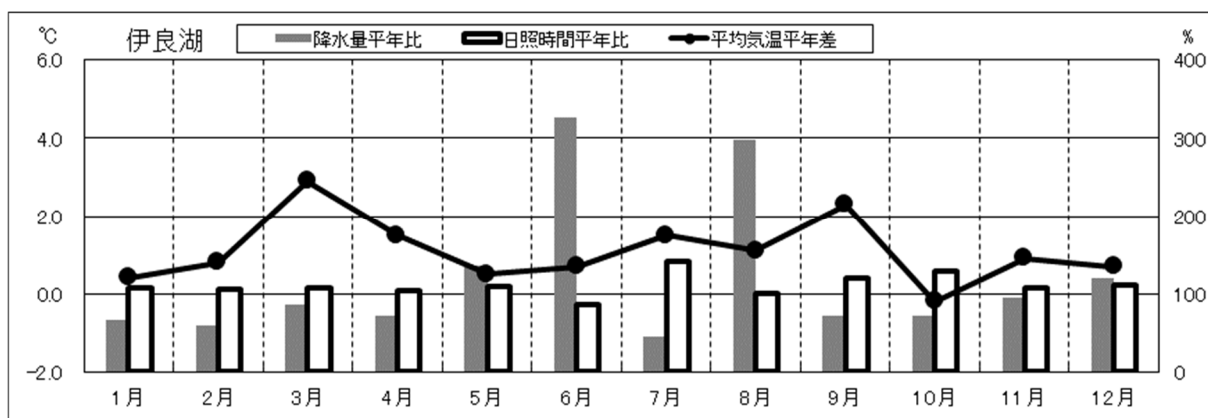
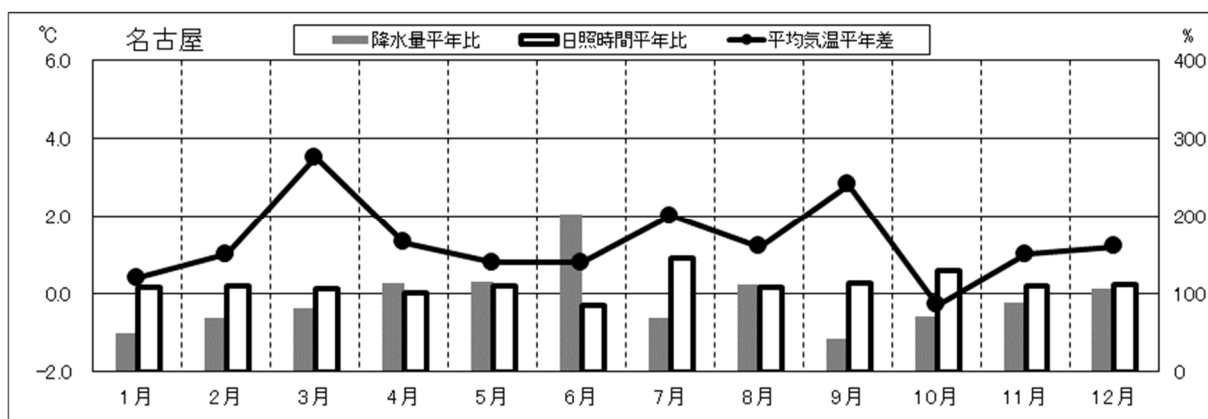


2023年（令和5年）の愛知県の天候

令和6年1月24日
名古屋地方気象台

【天候の特徴】

- 年平均気温**は、年平均気温は、名古屋が17.5℃、伊良湖が17.4℃で、ともにかなり高くなり、名古屋、伊良湖ともに年平均気温は、観測史上1位の値を更新しました。名古屋の月平均気温は、3月、4月、7月、9月は暖かい空気に覆われやすかったためかなり高くなりました。その他の月も、10月に低くなった他は高くなりました。
- 年降水量**は、名古屋が1504.5mmで少なく、伊良湖が2018.0mmでかなり多くなりました。月降水量は、名古屋は6月、伊良湖は6月と8月に、主に台風の影響を受けてかなり多くなりました。
- 年間日照時間**は、名古屋が2378.4h、伊良湖が2461.7hで、ともにかなり多くなりました。月間日照時間は、名古屋が7月、10月、12月、伊良湖が7月、10月に、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、かなり多くなりました。



名古屋、伊良湖の月平均気温・月降水量・月間日照時間の年平均差・比の推移

- 東海地方の**梅雨入り**は5月29日ごろでかなり早く（平年：6月6日ごろ）、**梅雨明け**は7月16日ごろで早い（平年：7月19日ごろ）となりました。

○**台風**の発生数は17個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は1個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は2個（平年の接近数：3.5個）でした。

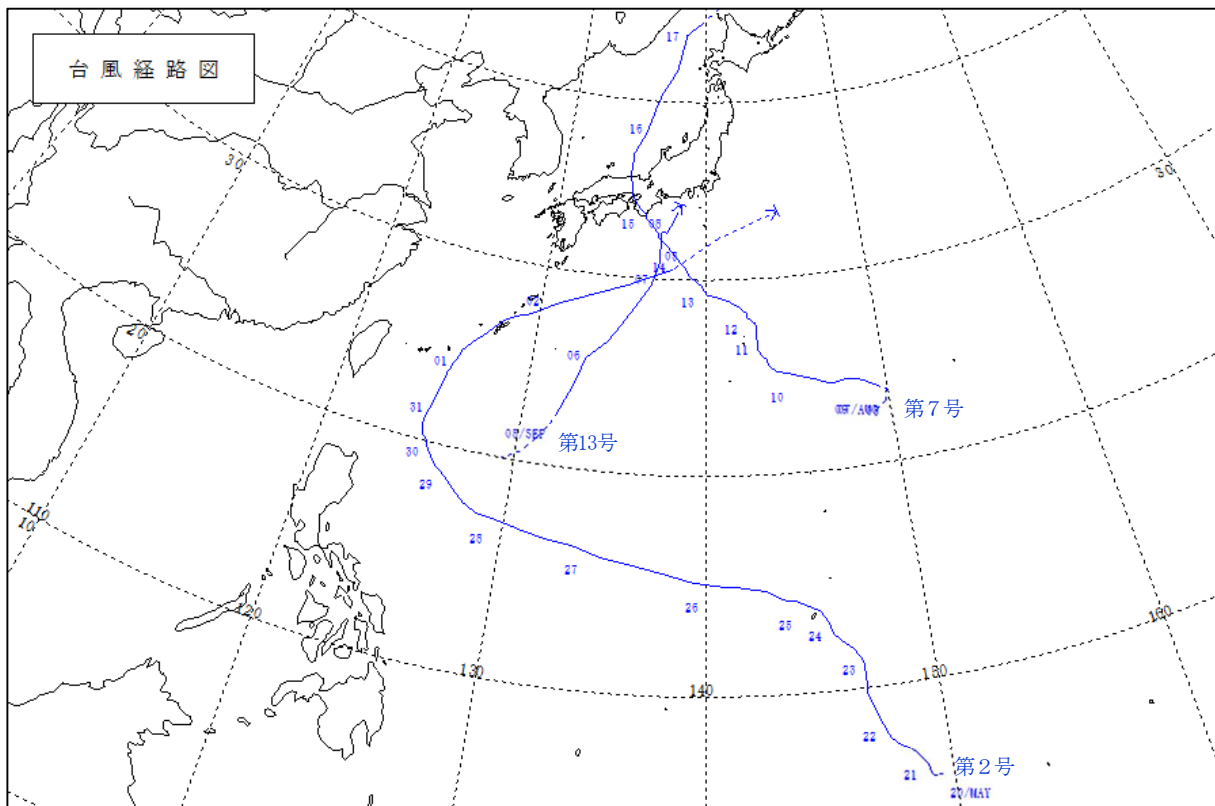
【2023年（令和5年）の台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数】

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
今年	発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
昨年	発生数	0	0	0	2	0	2	2	5	7	5	1	1	25
	上陸数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
平年値	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

※東海地方に接近した台風：中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風

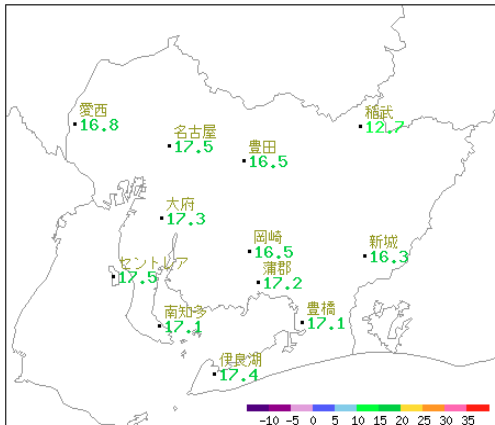
接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。速報値であり、後日値が変わる可能性があります。

東海地方に接近した台風（※第2号、第7号、第13号）の経路図
（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）



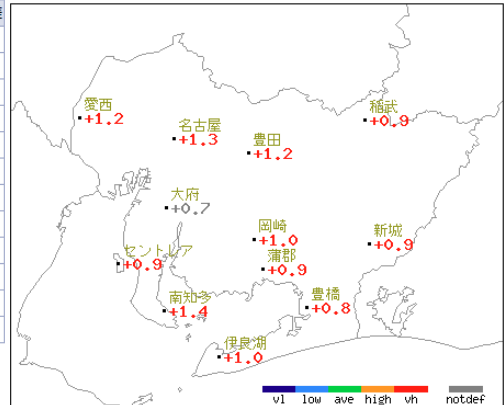
※台風第2号は、中心が東海地方から300km以内に入っていませんが、東海地方に大きな影響を及ぼした台風であるため、台風経路を示しました。

アメダス年別値 2023年 平均気温(℃)



2023年の年平均気温分布図 (℃)

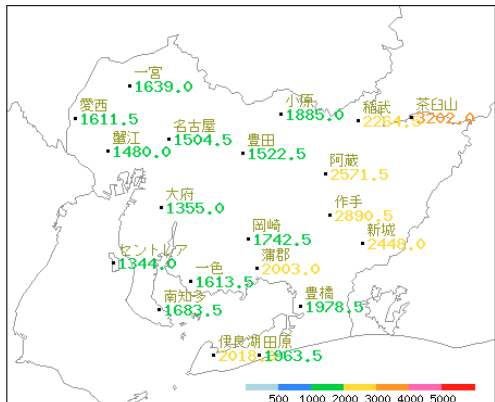
アメダス年別値 2023年 平均気温平年差(色-階級・値-℃)



2023年の年平均気温平年差分布図 (℃)

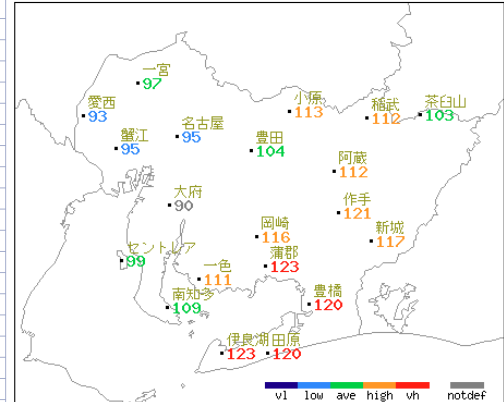
記号	統計値区分
D	正常値
--	現象なし
D)	準正常値
D]	資料不足値
X	欠測
//	平年値なし
D@	[参考]平年値

アメダス年別値 2023年 降水量(mm)



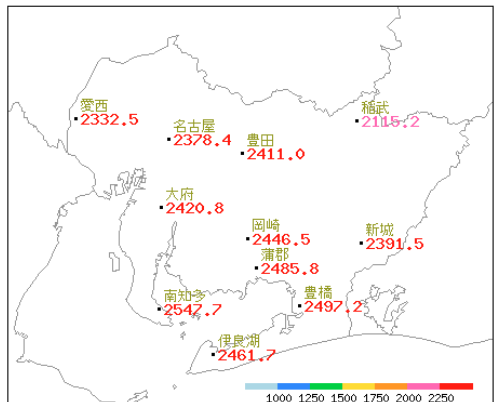
2023年の年降水量分布図 (mm)

アメダス年別値 2023年 降水量平年比(色-階級・値-%)



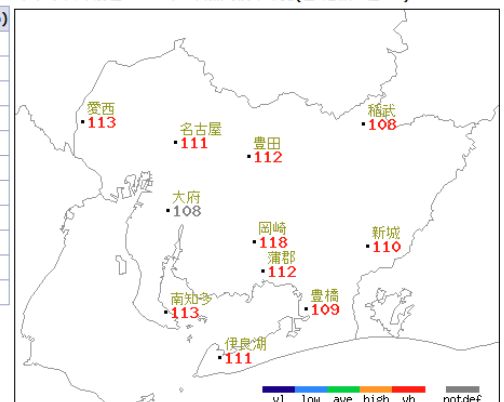
2023年の年降水量平年比分布図 (%)

アメダス年別値 2023年 日照時間(h)



2023年の年間日照時間分布図 (h)

アメダス年別値 2023年 日照時間平年比(色-階級・値-%)



2023年の年間日照時間平年比分布図 (%)

※ 愛西、稲武、豊田、大府、岡崎、新城、蒲郡、南知多及び豊橋において、日照時間の値は推計気象分布(日照時間)の推計値、平年値は推計値の平年値を使用しています。

【季節別の概況】

○冬（前年12月～2月）

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりました。12月の下旬には、一時的に強い寒気が流れ込み、大雪となった日もありますが、冬型の気圧配置は長続きせず、平均気温は高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多くなりました。

○春（3月～5月）

高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりましたが、低気圧や前線の影響により、雨や曇りとなった日もあり、5月は降水量が多くなりました。また、春を通して暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は平年並、日照時間は多くなりました。

○夏（6月～8月）

6月から7月中旬にかけては、低気圧や前線の影響により、雨や曇りの日が多くなりました。6月2日は、台風第2号周辺の暖かく湿った空気が本州付近に停滞する梅雨前線に向かって流れ込んだため、梅雨前線の活動が活発となり、西三河南部や東部を中心に記録的な大雨となりました。7月中旬から8月にかけては、高気圧に覆われて、晴れの日が多くなりました。また、夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は多くなりました。

○秋（9月～11月）

9月から10月上旬にかけては、低気圧や前線の影響により、雨や曇りの日が多くなりましたが、10月中旬から11月にかけては、高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。また、9月を中心に、暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温はかなり高くなりました。

名古屋の3か月の平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

○12月

高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、低気圧や前線の影響により雨や曇りとなった日もあり、中旬には大雨となった日もありました。

名古屋の月平均気温は高く、月降水量は平年並み、月間日照時間はかなり多くなりました。

【2023年（令和5年）の冬日・真夏日などの日数】

日最低気温が0℃未満の冬日の日数は、名古屋で平年値及び前年の値（2022年）を下回り、伊良湖は前年の値を上回りました。また、日最低気温が25℃以上の日数、日最高気温が30℃以上の真夏日の日数、および日最高気温が35℃以上の猛暑日の日数は、名古屋、伊良湖ともに平年値および前年の値を上回りました。

なお、名古屋、伊良湖ともに、日平均気温が25℃以上の日数、日最低気温が25℃以上の日数、日最高気温が30℃以上の真夏日の日数は、観測史上1位の値を更新しました。

	日最低気温が0℃未満（冬日）の日数			日最低気温が25℃以上の日数			日最高気温が30℃以上の（真夏日）の日数			日最高気温が35℃以上の（猛暑日）の日数		
	2023年	平年	2022年	2023年	平年	2022年	2023年	平年	2022年	2023年	平年	2022年
名古屋	17	23.8	28	49	25.6	35	93	69.7	88	32	15.0	16
伊良湖	5	5.9	3	42	21.1	33	84	51.0	69	5	4.0	3

【2023年（令和5年）の月別平均気温（℃）・降水量（mm）・日照時間（h）】

名古屋		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 （℃）	本年	5.2	6.5	12.7	15.9	20.2	23.8	28.9	29.4	27.3	18.3	13.6	8.4	17.5
	平年値	4.8	5.5	9.2	14.6	19.4	23.0	26.9	28.2	24.5	18.6	12.6	7.2	16.2
	平年差	+0.4	+1.0	+3.5	+1.3	+0.8	+0.8	+2.0	+1.2	+2.8	-0.3	+1.0	+1.2	+1.3
	階級	高い	高い	かなり高い	かなり高い	高い	高い	かなり高い	高い	かなり高い	低い	高い	高い	かなり高い
降水量 （mm）	本年	25.0	44.0	95.0	144.0	173.0	377.5	144.0	156.5	98.5	116.5	70.5	60.0	1504.5
	平年値	50.8	64.7	116.2	127.5	150.3	186.5	211.4	139.5	231.6	164.7	79.1	56.6	1578.9
	平年比	49%	68%	82%	113%	115%	202%	68%	112%	43%	71%	89%	106%	95%
	階級	少ない	少ない	平年並	平年並	多い	かなり多い	少ない	多い	少ない	平年並	平年並	平年並	少ない
日照時間 （h）	本年	186.9	191.4	213.6	202.0	225.8	128.8	241.5	216.2	181.3	217.4	182.2	191.3	2378.4
	平年値	174.5	175.5	199.7	200.2	205.5	151.8	166.0	201.3	159.6	168.9	167.1	170.3	2141.0
	平年比	107%	109%	107%	101%	110%	85%	145%	107%	114%	129%	109%	112%	111%
	階級	多い	多い	多い	平年並	多い	少ない	かなり多い	平年並	多い	かなり多い	多い	かなり多い	かなり多い

伊良湖		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	本年
平均気温 （℃）	本年	6.4	7.1	12.3	15.8	19.3	22.9	27.6	28.5	26.7	18.9	14.5	9.3	17.4
	平年値	6.0	6.3	9.4	14.3	18.8	22.2	26.1	27.4	24.4	19.1	13.6	8.6	16.4
	平年差	+0.4	+0.8	+2.9	+1.5	+0.5	+0.7	+1.5	+1.1	+2.3	-0.2	+0.9	+0.7	+1.0
	階級	高い	高い	かなり高い	かなり高い	高い	高い	高い	高い	かなり高い	平年並	高い	高い	かなり高い
降水量 （mm）	本年	41.0	40.0	105.5	100.0	221.5	585.0	71.5	343.5	171.5	162.5	100.0	76.0	2018.0
	平年値	61.9	68.3	121.5	138.8	163.5	179.6	159.6	115.5	240.6	223.9	106.0	63.1	1642.1
	平年比	66%	59%	87%	72%	135%	326%	45%	297%	71%	73%	94%	120%	123%
	階級	平年並	少ない	平年並	少ない	多い	かなり多い	少ない	かなり多い	少ない	平年並	平年並	多い	かなり多い
日照時間 （h）	本年	194.4	186.5	217.1	208.4	225.6	134.4	273.6	234.8	203.8	212.3	178.0	192.8	2461.7
	平年値	180.1	176.1	201.3	201.3	205.1	155.5	194.4	234.2	169.0	164.1	166.0	174.9	2222.0
	平年比	108%	106%	108%	104%	110%	86%	141%	100%	121%	129%	107%	110%	111%
	階級	多い	平年並	多い	平年並	多い	少ない	かなり多い	平年並	多い	かなり多い	多い	多い	かなり多い

（注）

1. 平年値は1991～2020年の資料から求めました。
2. 「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられるように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。
3. 値の横に「）や」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示します。「）付きの値（準正常値）」は通常のものと同様に扱うことができますが、「]付きの値（資料不足値）」については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用してください。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」としました。
4. この資料は速報なので、後日値が変わる可能性があります。

【トピックス】

6月2日から3日の大雨

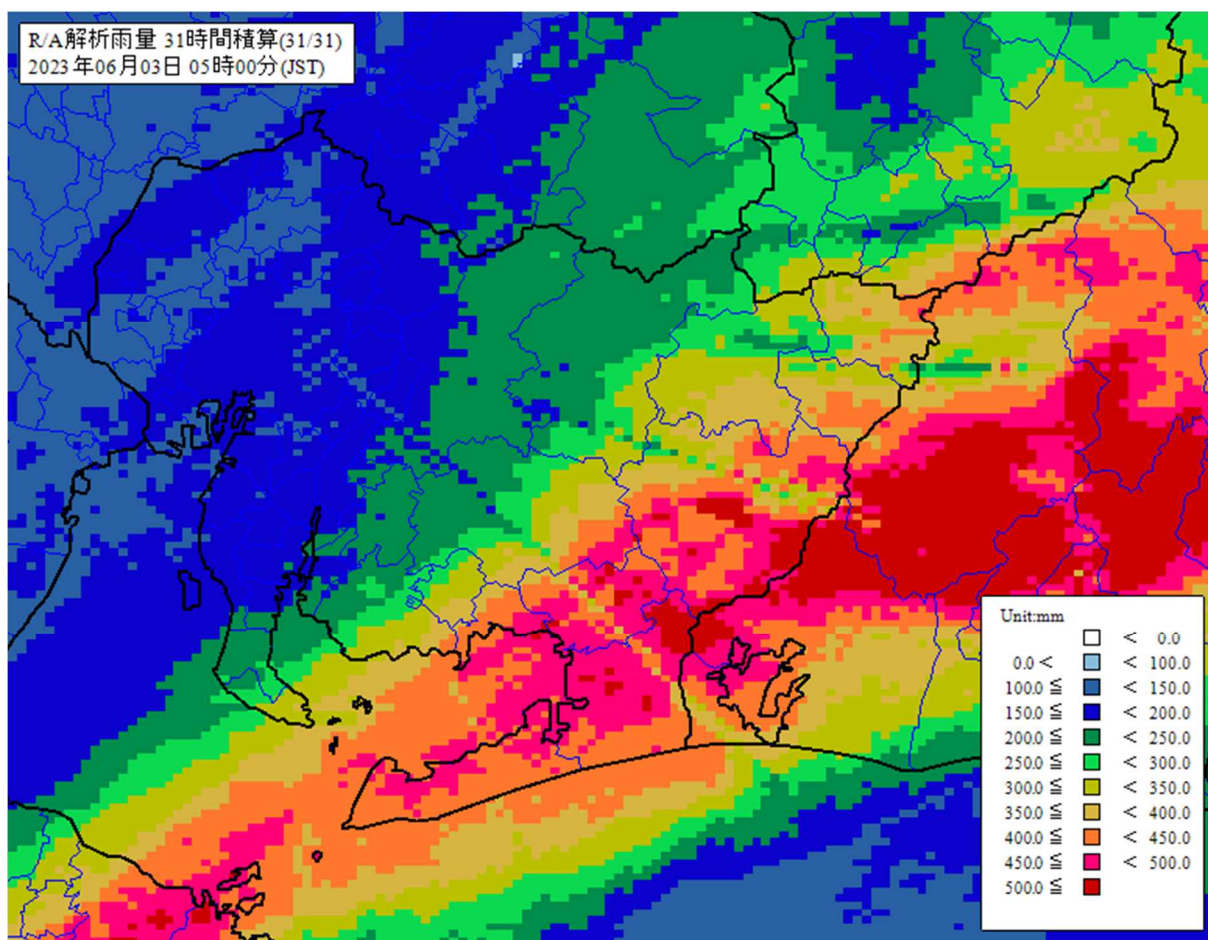
台風第2号は、5月20日21時にカロリン諸島近海で発生した後、北西に進み、大型で強い勢力を維持したまま6月1日夜遅くには沖縄に最接近しました。その後、台風は進路を東寄りに変えて本州の南海上を東北東に進み、3日の朝には紀伊半島の南海上に接近した後、3日の9時に日本の南で温帯低気圧に変わりました。

一方、本州付近には梅雨前線が停滞し、この前線に向かって台風からの暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により前線の活動が活発となりました。

このため、愛知県では6月1日夜から雨が降りはじめ、特に2日夕方から夜のはじめ頃にかけては、線状降水帯が発生するなど、同じ場所で激しい雨や非常に激しい雨が降り続き、西三河南部や東部を中心に記録的な大雨となりました。6月1日から3日までの降水量は、500ミリを超えた所がありました。

この大雨により各地で観測史上1位の値の更新や6月の1位の値を更新しました。

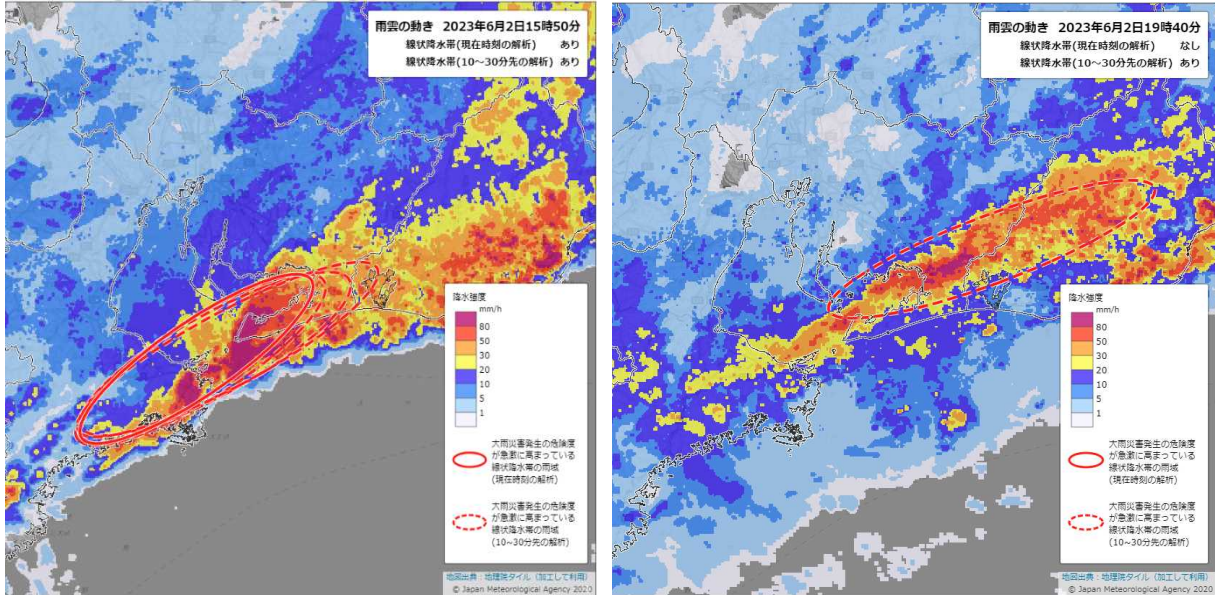
○解析雨量（6月1日22時～3日05時）



- ・解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量分布を解析したものです。
- ・この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合があります。

○線状降水帯の発生状況 赤い楕円：線状降水帯の雨域

(左：6月2日15時50分 右：6月2日19時40分)

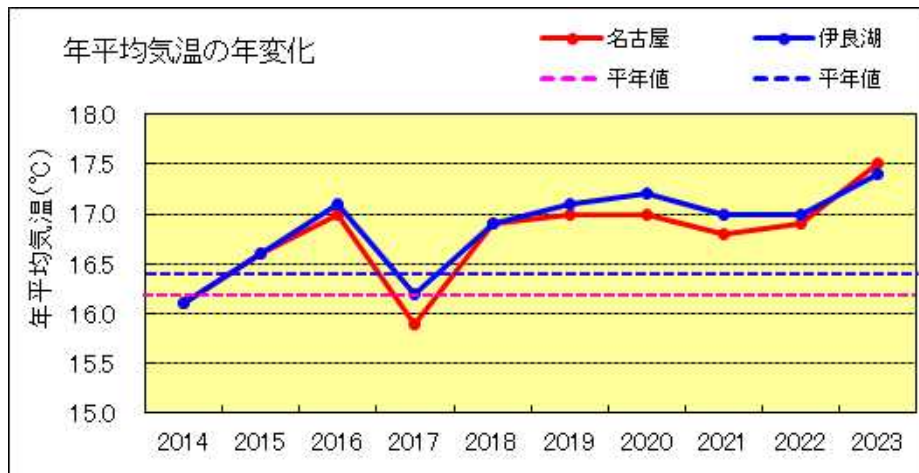


※赤い楕円：線状降水帯の雨域（実線 現在時刻の解析、点線 10～30分先の解析）

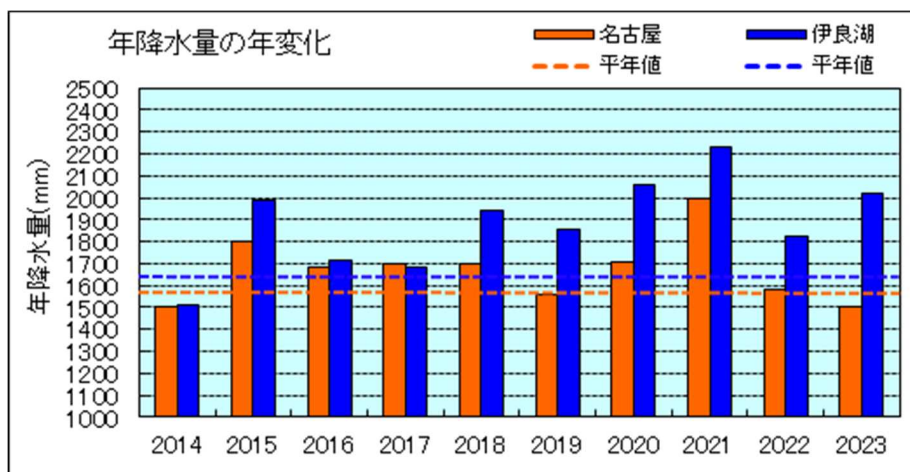
※顕著な大雨に関する気象情報が発表された際には、「雨雲の動き」、「今後の雨」（1時間雨量又は3時間雨量）において、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域を赤い楕円で表示します。現在時刻に解析された線状降水帯の雨域を実線で、10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線で表示します。

[参考]

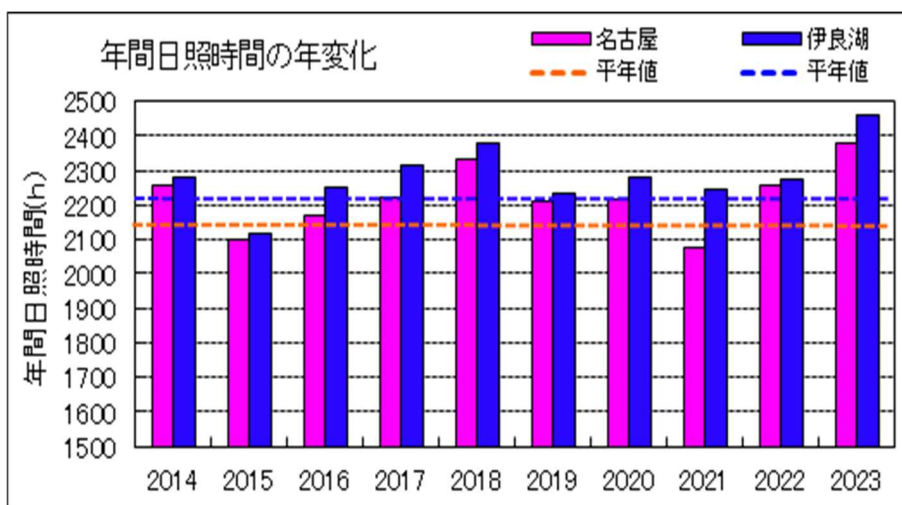
【年平均気温・年降水量・年間日照時間の年変化図（2014～2023年）】



過去10年間の名古屋、伊良湖の年平均気温



過去10年間の名古屋、伊良湖の年降水量



過去10年間の名古屋、伊良湖の年間日照時間